

第3章 「高松市MICE振興戦略」の重点施策

本市のMICE振興を推進していくために、「受入環境の整備」、「誘致強化」、「MICE振興のための産官学連携」、「MICEの創出」の4つの重点施策を実施します。

① 受入環境の整備

MICE振興の前提となる国内外から来訪する主催者や参加者を迎えるための交通アクセス、MICE施設などのインフラを始めとするハードの整備及び主催者が求める運営、情報交換、人脈づくりに求められる支援やサービスなど、受入環境を整備する必要があります。

また、MICE開催時に主催者や参加者から高い評価を得ることにより、更に誘致が有利になるような好循環を生み出すことができます。そのため、主催者がMICEの目的を達成することに集中できる環境を提供するとともに、参加者が安心して快適に、移動、討議、滞在、宿泊、観光ができる受入環境を整備します。あわせて、大きな開催効果を本市にもたらす仕組みづくりにも取り組みます。

(1) MICE施設

①既存MICE施設連携・機能強化

本市の強みを生かすことができるMICEを数多く誘致し、開催するためには、MICEを複数の会場で同時に使えることが望ましく、コンベンションエリアとなるサンポート地区の高松市文化芸術ホールなどを含めた複数施設の一体利用や、市内及び周辺市町のユニークベニューの有効活用を図り、そのためのサービスを一本化して提供できるように努めます。

また、設備の更新や改修等により施設が使用できない場合には、周辺施設と連携して、主催者への対応や代替施設を調整するなどの対応に努めます。

さらに、公衆無線LAN等のインターネット接続環境は、MICEを開催する上で欠かせないものとなっており、各MICE施設で快適に利用できる必要があるため、主催者からの要求に対応できるよう取り組みます。

【主な取組】

- 施設関係者のMICE振興に対する意識共有、連携強化
- 公衆無線LANの拡充整備及びコンテンツの開発(アプリを通じた館内案内、MICEの催事情報や周辺の飲食店情報の提供など)



高松市文化芸術ホール

②MICE開催に必要なインフラの整備

MICE開催においては、開催都市までの交通手段や会場間の移動など、交通アクセスが重要視されます。また、本市への交通アクセスを整備することは、グローバルMICE都市／強化都市を始めとした近隣都市との地域間連携の促進にもつながります。

香川県と連携した国内・国際定期航空路線の充実等や、四国の新幹線導入に向けて関係機関等と連携して取り組むとともに、高松空港からのアクセスや会議場や展示場間の移動などの二次交通手段の提供を検討します。

また、様々な国から本市を訪れる参加者に対し、より効果的・効率的な情報提供や案内が可能となる案内板の整備にも取り組みます。

【主な取組】

- 香川県と連携した国内・国際定期航空路線の充実等
- 四国の新幹線など高速鉄道ネットワーク整備に向けた連携
- MICE施設間移動のための二次交通手段の検討
- サンポート地区などの観光案内板の整備



「高松Tゾーン」の要となる中央通り

③施設不足による機会損失対策

MICEの規模によっては、現状のMICE施設では収容能力不足となり機会損失が生じることも考えられます。そのため、サンポート地区のコンベンションエリアにある複数のMICE施設の同時利用による最大収容能力から、開催可能な規模のMICEを提案できるようにするなど、対応策を検討します。

また、将来的には、香川県がサンポート地区に建設を予定している新県立体育馆がMICE施設として加わることから、収容能力が大幅に拡大するとともに、これまでサンポート地区に不足していた展示機能が、アリーナの展示場利用によって強化されることから、多様な利用方法を提案できるようにします。

【主な取組】

- MICE施設需要拡大時への対応策の検討と対策
- 会議場不足時の複数MICE施設同時利用の予約、運営、輸送等の検討
- 新県立体育馆のMICE会場としての活用検討
- 将来のMICEの動向に沿った本市における需要調査(需要予測、宿泊施設誘致、MICE施設の再整備・新設、PFI手法等)

(2) 支援・サービス

①主催者支援、参加者への対応

主催者がMICEを成功させることができるように、開催前の準備、開催中、開催後におけるサービスの提供及び支援ができる仕組みづくりに取り組みます。

開催中には、適切な運営支援と快適な滞在環境により成果を高められるように努めます。

開催終了後には、本市の観光などに関する情報提供や支援ができるようにし、MICE参加者が本市の魅力を体感することで「高松ファン」となり、リピーターとしての再訪につながるように努めます。

【主な取組】

- 本市の都市機能を中心とした滞在情報の提供
- 観光、食、宿泊、買い物など、本市滞在中の満足度を高める情報の提供



高松中央商店街



さぬきうどん

②ワンストップ窓口の設置

大規模MICEの開催では、MICE施設が一つの施設の利用にとどまらないことが多いため、近隣にある複数のMICE施設を一元的に予約利用できるようなワンストップ窓口を設置するなど、主催者や会議運営会社の負担の軽減に努めます。

また、施設の予約にとどまらず、MICE運営に関する支援や、市内滞在における支援等も同じ窓口で対応することにより、主催者や参加者の利便性向上に努めます。

MICE施設や(公財)高松観光コンベンション・ビューロー、香川県MICE誘致推進協議会と連携して、施設利用上のルールや申請書類を共通化するなど、主催者目線に立ったワンストップ窓口の実現を目指します。

【主な取組】

- 主催者からの施設予約や問い合わせ等に一元的に対応する(公財)高松観光コンベンション・ビューロー内のワンストップ窓口の設置検討
- MICE関係施設や(公財)高松観光コンベンション・ビューロー、香川県MICE誘致推進協議会と連携した施設利用上のルール(予約受付等)や申請書類の共通化の検討

(3) アフターコンベンション

MICE終了後の観光を促すために、参加者向けに本市周辺の多様な観光プランを提供することで滞在期間を延ばし、経済波及効果を高めることにつなげるとともに、本市の観光都市としてのブランドイメージの向上を図ります。

屋島や瀬戸内海の島々を始めとする本市ならではの観光プランや回遊を促す旅行を効果的に情報発信することで、主催者及び参加者が本市の自然や歴史、文化、食など様々な観光の魅力を体験できるように努めます。

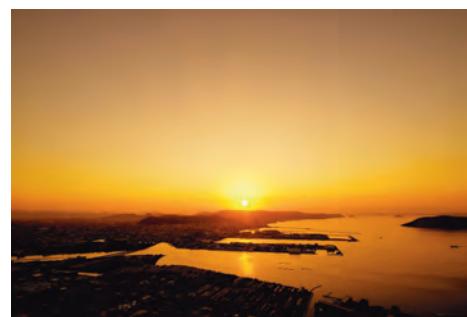
さらに、MICE参加者がリピーターとして再訪につながるような仕組みづくりに取り組みます。

史跡高松城跡
(玉藻公園)



【主な取組】

- 観光情報の効果的な提供方法や媒体の検討
- MICEの主題に関する観光プランや小規模旅行の開発及び宣伝ツールの制作
- 広域観光周遊ルート「スピリチュアルな島～四国遍路～」、「せとうち・海の道」の活用
- 屋島や瀬戸内海の島々、塩江温泉郷など本市の魅力を最大限に生かした観光周遊ルートの情報発信



瀬戸の夕景

(4) 開催効果最大化のための連携

MICE開催時に主催者や参加者等と、市民及び市内の企業関係者との交流の機会をつくるためには、主催者との事前の情報共有や準備が必要となります。それを実現するために、香川県MICE誘致推進協議会と連携して、市内のMICE関連事業者とのつながりを強化し、主催者情報の共有、事例情報などの交換ができる仕組みづくりに取り組みます。

また、交流の場を企画・運営するMICE関連事業者にとって、参加者の満足度を高めるためには専門的な対応が必要です。MICE関連事業者の企画力や技術力の向上が求められるため、MICE専門人材の確保や育成の支援を検討します。

【主な取組】

- MICE関連事業者の情報共有、連携促進、ノウハウ取得の促進
- MICE関連事業者向けスキルアップ研修の検討

(5) MICE商品開発

①MICE施設連携商品開発

施設の利用方法や組み合わせによる利便性向上など、具体的かつ高度な利用方法を主催者に提案することで、実質的な稼働率が高められ、経済波及効果も高まります。近隣の複数施設の一体利用を増やすために、必要な連携条件等を検討し、具体的なMICE施設商品として提案できるように努めます。

また、通常は会議場として使用しない空間を会議場とするなどのMICE商品の開発も検討します。

【主な取組】

- サンポート地区のMICE施設を一体利用する場合の収容能力、利用条件等の検討
- 二次交通手段の提示を含めた施設利用商品の検討
- MICE施設利用商品のプロモーション資料の作成
- 会議場以外の空間を活用したMICE商品の開発

②エクスカーションの開発

MICE開催の効果を高めるためには、MICE開催中に公式プログラムとして組み込まれる技術視察や小旅行であるエクスカーションが、本市で多く実施されることが重要です。

また、MICE誘致に当たっては、本市にある研究施設や生産施設、生産現場等への視察が効果的な場合があります。本市ならではのMICE商品を提案できることが誘致力を高めることにもつながるため、商店街活性化の事例として全国的に注目を集めている高松丸亀町商店街の視察や、MICEの主題に応じた技術視察などのMICE商品をあらかじめ準備できるように施設や事業者へ働きかけるなど、主催者にいつでも提案できるよう努めます。

同様に主催者によって、主題に関連した景観、体験施設、美術館や博物館のような観光施設をまわる小旅行が組み込まれることがあります。そのため、本市ならではの

施設や体験をプランとして提案できるように努めます。また、本市だけではなく、グローバルMICE都市／強化都市や瀬戸・高松広域連携中枢都市圏を形成する市町等と連携した広域的なエクスカーションプランの作成を目指します。

【主な取組】

- エクスカーション向けの商品開発(広域的なプランも含む)
- 本市ならではの技術視察商品の開発
- 屋島や瀬戸内海の島々など本市の魅力を最大限に生かしたエクスカーションの検討



高松丸亀町商店街視察の様子

③ユニークベニューの開発

主催者や参加者にとって会議施設とは違う、ユニークベニューでの会議・レセプションがもっとも高松らしさを体験できる貴重な機会となり、長く記憶に残る可能性が高いと考えられます。

観光庁は、本市における利用可能なユニークベニューとして、栗林公園商工奨励館(庭園)、史跡高松城跡 玉藻公園(歴史的建造物・城郭・公園)、高松琴平電気鉄道株式会社(電車・工場)などをリスト化しています。

本市の誘致力を強化し、開催効果を大きくするため、それぞれの関係者と連携してユニークベニューの満足度を高め、更に充実させる必要があります。また、屋島を始めとする本市の観光資源をユニークベニューとして活用するなど、新規開発にも取り組みます。



栗林公園商工奨励館

【主な取組】

- ユニークベニューの新規開発及びメニューの充実
- ユニークベニュー向け規制緩和や利用ガイドライン作成の検討
- ユニークベニューデータベースの構築
- 宣伝ツールの制作、宣伝活動



史跡高松城跡(玉藻公園)披雲閣

④本市のシンボル「屋島」の活用

サンポート地区のコンベンションエリアと連携し、本市のシンボルである屋島をMICE振興に活用することで、MICEにおける本市ならではの魅力を創出することができます。

最大の資源である山上からの眺望(多島美、夕景・夜景)や、古代山城屋嶋城・源平の史跡・屋島寺・遍路道、自然・地形遺産などの多様な観光資源を活用した本市ならではのコンベンションや懇親会、ミニツアーなどのアフターコンベンション、ユニークベニューとして屋島を活用することが、屋島の活性化だけでなく本市全体の競争力向上につながります。

また、屋島はその多様な価値から、香川県、四国、瀬戸内海といった広範なエリアにおける拠点として、グローバルMICE都市／強化都市と連携して、サテライト会場やエク

スカーションとしての活用が考えられます。

屋島をMICEで活用するためには、サンポート地区のコンベンションエリアと屋島との回遊性の確保が求められ、屋島ドライブウェイの無料化・市道化とともに、駐車場の確保やシャトルバスの運行など交通利便性の向上を図っていく必要があります。

【主な取組】

- 屋島山上拠点施設の整備
- 屋島を活用したアフターコンベンション、ユニークベニュー等の開発
- ジオパーク構想との連携など屋島の魅力向上
- 交通利便性の向上
- 屋島レクリザムフィールド(高松市屋島競技場)の活用



屋島山上拠点施設(イメージ)



屋島から見る夕景・夜景



「屋島ビューポイントフォトコンテスト」
最優秀賞



すてき屋根!屋島!

②誘致強化

誘致体制の整備、MICEに関する情報収集力の強化、誘致を促進するための効果的なツール類の制作等、MICE誘致力の強化に努めます。また、本市でのMICE開催の必然性や成功のイメージを主催者に伝えることができるよう戦略的、組織的に誘致を推進します。

(1) 誘致推進体制

①誘致体制の整備

MICEは一般的な観光の集客手法とは異なり、誰が、どのように、対象となる主催者にアプローチするかが重要です。MICE開催を決定する主催者(事務局、学会・協会、会議運営専門会社(PCO)、民間企業など)に対する専門的な誘致活動が求められます。そのためMICEの誘致では人脈づくりが大きな影響力を持ちます。特に国際会議や学会の誘致は長期に携わる必要があることから、同じ担当者による誘致活動が効果的であるため、(公財)高松観光コンベンション・ビューローの体制を強化します。

②誘致における効果的な連携

誘致活動が活発化し、競争が激化しているため、香川県を始め産官学が連携した体制により、誘致活動をこれまで以上に強化する必要があります。(公財)高松観光コンベンション・ビューローや香川県MICE誘致推進協議会等と連携して、更に効果的な誘致に努めます。

また、大規模なMICEの開催においては、プログラムの一部を開催会場から離れた都市で開催することもあります。そのようなMICEに対応するため、大規模MICEの開催の機会が多いグローバルMICE都市である神戸市やグローバルMICE強化都市である広島市などの連携も検討します。

【主な取組】

- (公財)高松観光コンベンション・ビューローの体制強化
- 誘致担当者を固定化することによる人脈の構築
- 誘致専任担当の確保、育成、スキルアップ、グローバル対応

【主な取組】

- 官民一体の誘致体制の強化(大規模MICE誘致対応など)
- 近隣自治体との広域連携(会場連携やエクスカーションなど)
- グローバルMICE都市／強化都市との連携検討

(2) マーケティングの強化

①誘致情報の収集・管理・共有

MICEの開催情報、主催者及び開催地決定権者の情報を入手し、市場の動向を把握できるように努めます。また、開催情報を定期的に収集することで、誘致対象とすべきMICEを絞り込み、継続的な誘致活動に生かします。

収集したMICEの開催情報や主催者情報を誘致に活用するためには、情報の一元管理と本市、香川県、MICE関係者での共有が必要なため、香川県MICE誘致推進協議会などと連携することにより、情報運用の仕組みづくりに努めます。

【主な取組】

- 定期的なMICE開催情報の収集
- 情報収集のための人脈づくり
- 本市、香川県、MICE関係者での情報共有及びそのツールの検討
- 東京事務所等への出向者によるMICE開催情報の収集
- 誘致活動の進捗情報の一元管理

②誘致ツールの整備

開催地を検討している主催者向けに、必要な情報と本市でMICEを開催する優位性や利点を伝えることができる誘致ツールを整備することで、本市のMICE誘致における競争力を高めます。

開催地の選定に求められる情報を掲載するMICE誘致のホームページ、誘致専用小冊子(ミーティング・プランナーズ・ガイド)、プロモーション映像等を制作し、主催者に提供します。また、誘致ツールの制作においては、それぞれを独立して制作するのではなく、媒体の特性を生かして、相互に補完できるような効果的なツールの制作を目指します。

誘致ツールにより、本市のMICE施設や観光、文化・芸術・スポーツやアフターコンベンションに関する情報、補助金制度の案内等を発信し、本市でMICEを開催する優位性や利点を伝えることで、主催者が本市

でのMICE開催の必然性と成功を理解できるように努めます。

【主な取組】

- MICE誘致ホームページの制作・情報発信の強化(多言語対応、ユニバーサルデザイン等)
- 誘致専用小冊子(ミーティング・プランナーズ・ガイド)の制作
- MICE誘致専用プロモーション映像の制作
- MICE誘致及び参加者向け市内ガイド専用情報端末ソフトの検討(Webからの申込、会場施設利用料の見積等)

③経済波及効果算出のための調査及び分析

(公財)高松観光コンベンション・ビューローによりコンベンション開催による経済波及効果の分析が行われています。

観光庁は「MICE開催による地域別経済波及効果測定のための簡易測定モデル」による経済波及効果測定を推奨しており、このモデルによる分析も検討します。これにより、他都市とMICE開催による効果を比較できるようになります。

【主な取組】

- 経済波及効果算出に必要な情報の収集
- コンベンション数の項目及び算出方法の再検討
- 観光庁モデルによる算出・分析の検討

④開催満足度調査・潜在ニーズ調査及び分析

本市でのMICE開催時に主催者及び参加者に対して、開催満足度調査・潜在ニーズ調査を実施し、結果を分析することにより、今後のMICE開催における満足度の向上を図ります。

また、主催者による要求の経年変化を分析することで、今後の施設の機能強化や新規MICE施設建設の検討などに役立てます。

【主な取組】

- 主催者及び参加者へのアンケートの実施
- MICE開催における重要人物へのヒアリングの実施

(3) 誘致活動

①MICEの形態別誘致活動

Mでは企業、Iでは専門会社、Cでは主催者やPCO、Eでは協会や団体、展示会専門会社などMICEの形態に合わせたアプローチにより誘致を推進します。

コンベンションの誘致においては、政府系会議、学術系会議、企業系会議と会議の種類に合わせて、主催者や重要人物にアプローチします。特に、政府系国際会議や大規模MICEについては、香川県MICE誘致推進協議会と連携して、誘致に取り組みます。

また、誘致活動を通じて、本市において開催可能性が高いMICEの情報を収集し、今後の誘致活動に役立てます。

【主な取組】

- MICEアンバサダー(主催者になりうる人材)の発掘、協力要請、共同誘致の検討
- PCO、旅行会社、主催者、開催地決定権者、インセンティブ・ツアー受入専用会社、DMC等への定期的な誘致活動
- 開催地決定権者の招聘の検討
- 近隣の大学等への誘致活動・人脈の構築
- MICE展示会、商談会への参加(観光庁主催MICE見本市など)
- トップセールスによる誘致活動及び招請状発行の仕組みづくり

②インセンティブ・ツアーの誘致促進

インセンティブ・ツアーの誘致に当たっては、本市の強みをインセンティブ・ツアー向けに具体的にパッケージ化し、要求に応じていつでも提案できるようにしておく必要があります。

屋島や瀬戸内海の島々、広域観光周遊ルートに認定された四国四県が連携する「スピリチュアルな島～四国遍路～」や瀬戸内海沿岸の七県が連携する「せとうち・海の道」、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の各市町などと連携して、本市の特徴を生かしたインセンティブ・ツアーの商品開発を検討します。

インセンティブ・ツアー向けの商品開発では、観光としての企業の団体旅行とは区別し、パーティー会場や屋外の空間を活用した表彰式など、主催者要求に対応した商品開発を目指します。特にインセンティブ・ツアーではユニークベニューに求められる水準が高いため、効果的な演出や本市ならではの飲食の提供など、付加価値が高く、他都市との区別化ができる商品を検討します。

インセンティブ・ツアーの誘致においては、国内・国際定期航空路線を生かしたインバウンド市場も意識しながら、アジアとの価格競争ではなく、本市ならではの強みを生かしたコースやサービス水準を高めることで、競争力を強化します。

【主な取組】

- 本市のシンボル「屋島」の活用
- 広域観光周遊ルート「スピリチュアルな島～四国遍路～」、「せとうち・海の道」を生かした商品開発の検討
- 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の各市町との連携
- さぬきうどんや高松盆栽を活用したインセンティブ・ツアー商品の開発
- インセンティブ・ツアー向けの効果的な雰囲気づくりや参加者の結束を高めるプログラムの開発



瀬戸内海の多島美



大型クルーズ船でのインセンティブ・ツアー(イメージ)

③海外に向けた誘致活動

グローバルなMICE誘致のための情報発信ができる仕組みづくりに取り組みます。すでに交流実績がある海外の姉妹都市や友好都市との連携による新たなMICE開催の検討を行います。また、国際協力機構(JICA)や日本貿易振興機構(JETRO)などとの連携や、国際会議協会(ICCA)への加盟検討など、グローバルなMICE誘致を図ります。

さらに、香川県と連携して国内・国際定期航空路線の充実等に取り組むとともに、グローバル誘致に求められる多言語への対応や海外のビジネス習慣への理解など、誘致担当者の能力向上を図ることにより、海外からの訪問客に対する受入環境の整備にも努めます。

【主な取組】

- 海外からのMICE視察の積極的受入
- 日本政府観光局(JNTO)の海外MICE向け誘致・開催支援機能の活用
- 姉妹都市や友好都市等との連携によるMICE開催の検討(セント・ピーターズバーグ市、トゥール市、南昌市、基隆市など)
- 国際会議協会(ICCA)への加盟検討(人脈、情報交換、MICE情報データベース等の活用)
- 海外からの訪問客の受入環境の整備



海外におけるMICE誘致の様子

(4) 効果的な財政支援

(公財)高松コンベンション・ビューローでは、開催支援補助金制度を運用しています。この補助金の投資効果を検証しながら、MICEの振興を加速させる支援制度を目指し、現行補助金制度や、財政支援の仕組みを見直します。

さらに、開催決定後の支援だけではなく、開催が決まる前の段階においても、海外での誘致活動や新規にMICEを創り出すための支援など、MICE振興に効果的な新しい財政支援が行えるように検討します。

【主な取組】

- 開催支援補助金制度の見直し
- 誘致活動を支援する制度の検討
(海外セールス渡航費、開催視察、開催誘致提案書作成の支援等)

③ MICE振興のための産官学連携

MICE振興によるまちづくりを推進するためには、市民との連携はもとより、より強い産官学連携が求められます。

(1) MICE振興のための連携

MICEの振興に当たっては、誘致を始めMICE振興全体に関わる産官学連携が重要となります。特にMICE開催時の効果を高めるためには、多様なMICE参加者と経済界や産業界、学術関係者、自治体関係者などとの交流の機会を提供する関連事業や周辺イベントを数多く実施する必要があります。

そのため、香川県MICE誘致推進協議会等と連携しながら、産官学連携による開催効果を最大化できる仕組みづくりに取り組みます。

また、MICEを推進する都市では、MICE

コンテンツを多く持つ地域の大学とMICEの誘致から振興に協力するための包括協定や契約を締結する例もあります。本市においても、香川大学等とのMICEに関する連携強化を検討します。

【主な取組】

- 香川県MICE誘致推進協議会等と連携した産官学連携の仕組みづくり
- 香川大学等とのMICE振興に関する連携強化の検討
- MICEによる地域経営機能(DMO的機能)の強化検討



MICE関係者によるワークショップの様子

(2) 戰略推進の実行体制

本戦略の推進に当たっては、本市及び(公財)高松観光コンベンション・ビューローが中心となって取り組み、誘致活動や開催効果最大化のための産官学の連携を促進するとともに、市民も巻き込んで組織的にMICE振興を推進できる実行体制を整備する必要があります。

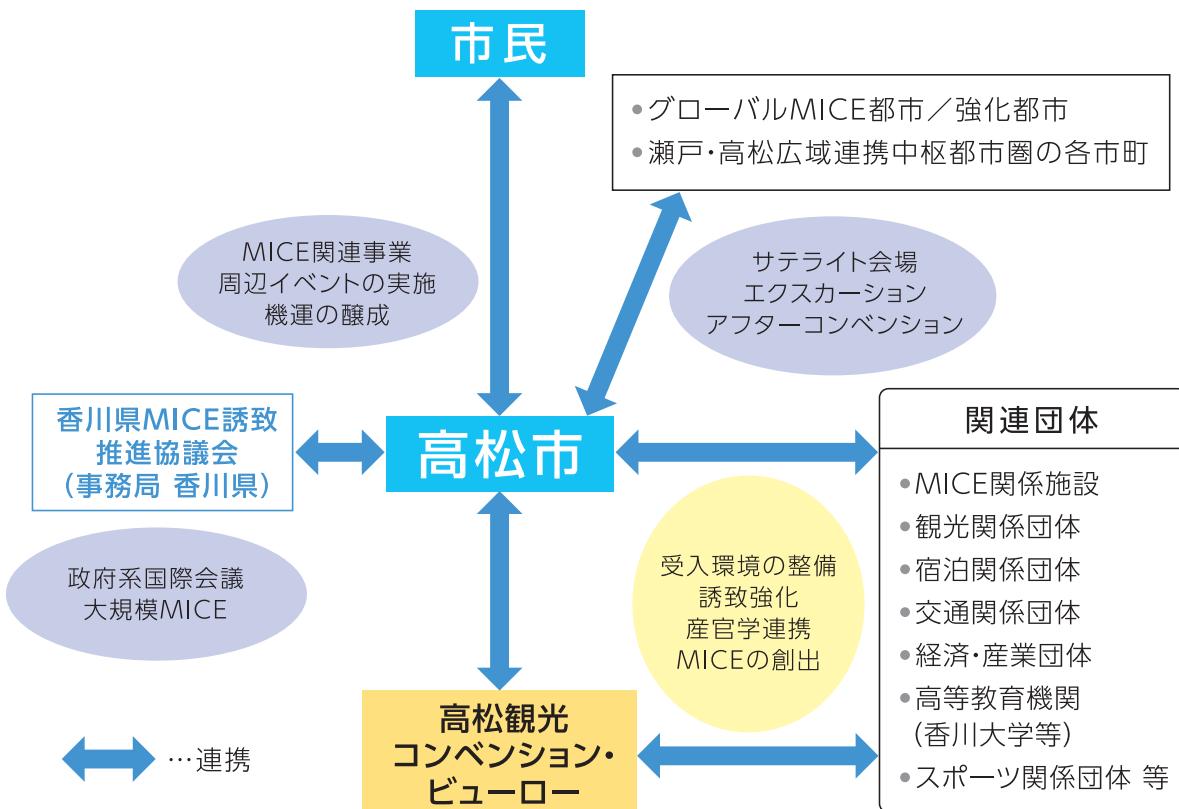
また、香川県MICE誘致推進協議会に参画し、MICEの形態や主題によっては、観光庁や日本政府観光局(JNTO)とも連携しながら、誘致活動を進めます。特に、政府系国際会議や大規模MICEについては、香川

県MICE誘致推進協議会と連携して、誘致に取り組みます。

さらに、開催効果を高める事業の実施、ユニークベニューの開発などに対応できるよう体制強化に努めます。

【主な取組】

- MICE版DMO設置の検討
- 香川県、関係団体等との共同誘致活動
(政府系国際会議、大規模MICEなど)



④ MICEの創出

本市の地域特性を生かした高松らしいMICEを創出することにより、他都市との区別化をすることができます。

また、関連事業や周辺イベントの実施や、市民のMICE開催の効果に対する理解を深めることで、MICE開催の効果を最大化するとともに、本市が主体的にMICEをまちづくりに活用することができます。

(1) 高松らしいMICEの開催

本市ならではMICEコンテンツや、「高松Tゾーン」内のMICE関係施設や交通アクセスなどの都市機能、本市のシンボル「屋島」の活用など、本市の特徴を生かした高松らしいMICEを開催することは、他都市との区別化をすることにつながります。

また、本市ならではのMICEを創出することで開催件数が少ない時期を開催期間とすることや、関連事業や周辺イベントを実施しやすくなることにつながり、本市のMICE振興において、大きな強みとなります。

高松らしいMICEを開催するためには、市場の動向と本市の実情、関係者間を調整できるMICE専門の人材確保や仕組みづく

りが求められます。香川県MICE誘致推進協議会と連携し、本市の産業界や経済界、学術関係者、自治体関係者、市民、市民団体などとの連携や情報交換ができる仕組みづくりを行い、高松らしいMICEを開催できる人材の発掘や育成を図ります。

【主な取組】

- 将来、MICEを開催できる人材の発掘とその人脈づくり
- MICEコンテンツになりうる分野の調査
- 類似MICEの集約、小規模MICEの規模拡大などの支援検討

(2) 開催効果を高める商品開発

MICE開催の効果を大きくするために、多様な関連事業や周辺イベントを実施し、MICEの主催者や参加者と本市関係者との交流の機会を数多く提供する必要があります。そのため、MICEの主題に沿った関連事業や周辺イベントを企画し、MICEの商品として提供できるように努めます。このようなMICE商品の開発は広範囲に及ぶため、多くのMICE関係者やMICE関連事業者と連携して商品開発を進め、MICE関連事業のビジネス機会の増加を図ります。

【主な取組】

- MICE開催に合わせた関連事業や周辺イベントの実施（経済界、大学関係者、学生、市民、近隣行政関係者向けなど）



MICE参加者との交流の様子

(3) 機運の醸成

一般的にMICEという言葉に馴染みがないため、観光やインバウンドと同じように捉えられることがあります。そのため、MICE振興やその効果に対する理解を深めるとともに、本市全体でMICEを受け入れ、発展させるための機運の醸成を図ります。

香川県MICE誘致推進協議会等と連携して、MICEの振興が本市の成長に必要であることが市民はじめMICE関連事業者に浸透するように、啓発活動に取り組みます。

また、開催されるMICEの主題に関係した市民公開講座や市民向けの連携イベン

トを実施することで、市民が直接MICEに触れる機会や、市民ボランティアとしてMICEに直接参加する場の提供など、本市におけるMICE振興の機運の醸成に努めます。

【主な取組】

- 市民向けMICE啓発のためのセミナー実施
- 市内事業者向けMICEによる事業展開の啓発研修の実施
- MICEの主題に関係した市民公開講座や市民イベントの実施



高松丸亀町壱番街前ドーム広場



G7香川・高松情報通信大臣会合開催記念イベント
ICT市民体感デー in 高松中央商店街
(2016)